

イコールパートナープロジェクト（「+ - =」（プラスマイナス=マル）」）
 来場者アンケート結果（2005年、2006年実施分）

調査概要

調査1・・・調査日：2005年11月19日

回収数：94

調査地：大阪市北区扇町公園内（予防啓発イベントPLuS+実施会場）

調査2・・・調査日：2006年10月21日

回収数：254

調査地：大阪市北区扇町公園内（予防啓発イベントPLuS+実施会場）

単純集計

企画をどこで知ったか(2005)

項目	度数	パーセント
PLuSパンフ	33	35.1
SaL+	4	4.3
友人知人	18	19.1
たまたま	27	28.7
その他	8	8.5
合計	90	95.7
欠損値	4	4.3
合計	94	100

企画をどこで知ったか(2006)

項目	度数	パーセント
PLuSパンフ	85	33.5
SaL+	4	1.6
友人知人	59	23.2
たまたま	69	27.2
mixi	4	1.6
その他	19	7.5
合計	240	94.5
欠損値	14	5.5
合計	254	100

テントの雰囲気はどうだったか(2005)

	度数	パーセント
とてもよかった	35	37.2
よかった	41	43.6
普通	17	18.1
合計	93	98.9
欠損値	1	1.1
合計	94	100

テントの雰囲気はどうだったか(2006)

	度数	パーセント
とてもよかった	98	38.6
よかった	117	46.1
普通	33	13.0
あまりよくなかった	2	0.8
合計	250	98.4
欠損値	4	1.6
合計	254	100

写真への評価(2005)

	度数	パーセント
とてもよかった	36	38.3
よかった	47	50.0
普通	10	10.6
あまりよくなかった	1	1.1
合計	94	100

写真への評価(2006)

	度数	パーセント
とてもよかった	79	31.1
よかった	120	47.2
普通	45	17.7
あまりよくなかった	1	0.4
合計	245	96.5
欠損値	9	3.5
合計	254	100

言葉への評価(2005)

	度数	パーセント
とてもよかった	47	50.0
よかった	39	41.5
普通	6	6.4
合計	92	97.9
欠損値	2	2.1
合計	94	100

言葉への評価(2006)

	度数	パーセント
とてもよかった	96	37.8
よかった	120	47.2
普通	21	8.3
あまりよくなかった	2	0.8
合計	239	94.1
欠損値	15	5.9
合計	254	100

ファイルへの評価(2005)

	度数	パーセント
とてもよかった	39	41.5
よかった	28	29.8
普通	16	17.0
あまりよくなかった	1	1.1
合計	84	89.4
欠損値	10	10.6
合計	94	100

ファイルへの評価(2006)

	度数	パーセント
とてもよかった	66	26.0
よかった	88	34.6
普通	21	8.3
あまりよくなかった	1	0.4
合計	176	69.3
欠損値	78	30.7
合計	254	100

企画への評価(2005)

	度数	パーセント
とてもよかった	50	53.2
よかった	35	37.2
普通	5	5.3
あまりよくなかった	1	1.1
合計	91	96.8
欠損値	3	3.2
合計	94	100

企画への評価(2006)

	度数	パーセント
とてもよかった	99	39.0
よかった	104	40.9
普通	14	5.5
あまりよくなかった	0	0.0
合計	217	85.4
欠損値	37	14.6
合計	254	100

陽性者の知人の有無(2005)

	度数	パーセント
いる	31	33.0
いない	36	38.3
わからない	25	26.6
その他	1	1.1
合計	93	98.9
欠損値	1	1.1
合計	94	100

陽性者の知人の有無(2006)

	度数	パーセント
いる	87	34.3
いない	54	21.3
わからない	82	32.3
答えたくない	2	0.8
その他	0	0.0
合計	225	88.6
欠損値	29	11.4
合計	254	100

性別(2005)

	度数	パーセント
男性	60	63.8
女性	33	35.1
その他	1	1.1
合計	94	100

性別(2006)

	度数	パーセント
男性	161	63.4
女性	60	23.6
その他	5	2.0
合計	226	89.0
欠損値	28	11.0
合計	254	100

性的指向(2005)

	度数	パーセント
ゲイ・レズビアン	46	48.9
バイ	8	8.5
ヘテロ	32	34.0
解らない	7	7.4
合計	93	98.9
欠損値	1	1.1
合計	94	100

性的指向(2006)

	度数	パーセント
ゲイ・レズビアン	133	52.4
バイ	19	7.5
ヘテロ	54	21.3
解らない	10	3.9
その他	6	2.4
合計	222	87.4
欠損値	32	12.6
合計	254	100

年齢(2005)

	度数	パーセント
18	1	1.1
19	3	3.2
20	6	6.4
21	2	2.1
22	4	4.3
23	4	4.3
24	2	2.1
25	2	2.1
26	5	5.3
27	3	3.2
28	1	1.1
29	2	2.1
30	5	5.3
31	7	7.4
32	3	3.2
33	7	7.4
34	3	3.2
35	1	1.1
36	3	3.2
37	1	1.1
38	3	3.2
39	2	2.1
40	3	3.2
41	2	2.1
42	2	2.1
43	1	1.1
45	1	1.1
46	5	5.3
49	1	1.1
50	2	2.1
56	1	1.1
合計	88	93.6
欠損値	6	6.4
合計	94	100

年齢(2006)

	度数	パーセント
18	2	0.8
19	10	3.9
20	11	4.3
21	11	4.3
22	12	4.7
23	11	4.3
24	8	3.1
25	8	3.1
26	8	3.1
27	8	3.1
28	7	2.8
29	15	5.9
30	7	2.8
31	8	3.1
32	6	2.4
33	8	3.1
34	8	3.1
35	4	1.6
36	5	2.0
37	8	3.1
38	1	0.4
39	4	1.6
40	4	1.6
41	4	1.6
42	3	1.2
43	1	0.4
44	2	0.8
45	1	0.4
46	4	1.6
47	2	0.8
48	2	0.8
50	1	0.4
51	2	0.8
56	1	0.4
合計	197	77.6
欠損値	57	22.4
合計	254	100

居住地(2005)

	度数	パーセント
関東	4	4.3
東海	11	11.7
関西	70	74.5
中国	2	2.1
九州	2	2.1
合計	89	94.7
欠損値	5	5.3
合計	94	100

居住地(2006)

	度数	パーセント
東北	1	0.4
関東	12	4.7
東海	6	2.4
関西	188	74.0
中国	1	0.4
四国	2	0.8
合計	210	82.7
欠損値	44	17.3
合計	254	100

居住地(関西内訳)(2005)

	度数	パーセント
大阪	45	47.9
兵庫	9	9.6
京都	9	9.6
奈良	3	3.2
合計	66	70.2
欠損値	28	29.8
合計	94	100

居住地(関西内訳)(2006)

	度数	パーセント
大阪	123	48.4
兵庫	25	9.8
京都	20	7.9
奈良	7	2.8
滋賀	5	2.0
合計	180	70.9
欠損値	74	29.1
合計	254	100

クロス集計 (2005)

「性別」と「陽性者の知人の有無」のクロス表(2005)

		陽性者の知人				合計
		いる	いない	わからない	その他	
性別	男性	24	22	14	0	60
	女性	7	13	11	1	32
	その他	0	1	0	0	1
	合計	31	36	25	1	93

* 欠損 = 1

「性的指向」と「陽性者の知人の有無」のクロス表(2005)

		陽性者の知人				合計
		いる	いない	わからない	その他	
性的指向	ゲイ・レズビアン	16	15	15	0	46
	バイ	0	7	1	0	8
	ヘテロ	12	11	7	1	31
	解らない	3	3	1	0	7
	合計	31	36	24	1	92

* 欠損 = 2

「年齢」と「陽性者の知人の有無」のクロス表(2005)

		年齢								合計
		10代	20~25	26~30	31~35	36~40	41~45	46~50	56~	
陽性者の知人	いる	0	1	3	12	6	3	2	1	28
	いない	2	8	10	6	3	2	3	0	34
	わからない	2	10	3	3	3	1	2	0	24
	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	合計	4	19	16	21	12	6	8	1	87

* 欠損 = 7

「言葉・写真への評価」と「陽性者の知人の有無」のクロス表(2005)

陽性者の知人	言葉への評価	写真への評価				合計
		とてもよかった	よかった	普通	あまりよくなかった	
いる	とてもよかった	9	4	2	0	15
	よかった	5	7	1	0	13
	普通	0	1	1	0	2
いない	とてもよかった	6	5	1	1	13
	よかった	1	19	1	0	21
	普通	0	1	0	0	1
わからない	とてもよかった	13	4	0	0	17
	よかった	0	4	1	0	5
	普通	0	1	2	0	3
その他	とてもよかった	0	0	1	0	1
	よかった	0	0	1	0	1
	普通	0	0	0	0	0
合計		34	46	11	1	92

* 欠損 = 2

クロス集計 (2006)

「性別」と「陽性者の知人の有無」のクロス表(2006)

		陽性者の知人				合計
		いる	いない	わからない	答えたくない	
性別	男性	70	36	51	2	159
	女性	16	15	28	0	59
	その他	1	2	2	0	5
	合計	87	53	81	2	223

* 欠損 = 31

「性的指向」と「陽性者の知人の有無」のクロス表(2006)

		陽性者の知人				合計
		いる	いない	わからない	答えたくない	
性的指向	ゲイ・レズビアン	62	26	42	1	131
	バイ	8	6	4	1	19
	ヘテロ	9	14	30	0	53
	わからない	3	5	2	0	10
	その他	2	2	2	0	6
	合計	84	53	80	2	219

* 欠損 = 35

「年齢」と「陽性者の知人の有無」のクロス表(2006)

		年齢									合計
		10代	20～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～	
陽性者の知人	いる	5	16	13	14	12	9	4	2	0	75
	いない	2	20	11	6	5	1	1	0	0	46
	わからない	5	22	20	12	5	1	4	0	1	70
	こたえたくない	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
合計		12	60	44	32	22	11	9	2	1	193

*欠損 = 61

「言葉・写真への評価」と「陽性者の知人の有無」のクロス表(2006)

陽性者の知人	言葉への評価	写真への評価				合計
		とてもよかった	よかった	普通	あまりよくなかった	
いる	とてもよかった	19	9	2	0	30
	よかった	5	28	7	1	41
	普通	0	0	7	0	7
いない	とてもよかった	8	8	1	0	17
	よかった	3	21	3	0	27
	普通	1	2	3	0	6
	あまりよくなかった	0	0	1	0	1
わからない	とてもよかった	16	10	2	0	28
	よかった	6	25	11	0	42
	普通	0	4	1	0	5
	あまりよくなかった	0	0	1	0	1
こたえたくない	とてもよかった	0	1	0	0	1
	普通	0	1	0	0	1
合計		58	109	39	1	207

*欠損 = 47

*クロス集計コメント

上記の表はクロス集計の中から、明瞭な傾向が表れている部分のみを掲出したものです。特筆できる点は3点です。

1. 「性別」「陽性者の知人の有無」の関係をみてみると、2005年に男性で「いる」「いない」がほぼ同数であったのに対し、2006年では「いる」が「いない」のほぼ2倍となっている。女性でも「陽性者の知人がいる」と答える人の割合が増えている。
2. 1と同様の比較を「性的指向(セクシュアリティ)」でみてみると、2005年にゲイ・レズビアンで「いる」「いない」がほぼ同数であったのに対し、2006年では「いる」が「いない」のほぼ2.5倍となっている。また、2006年では「(いるかいないか)わからない」との回答が、2005年より大幅に増加しており、実際に会ったことはないけれども「身近に陽性者がいるかもしれない」と認識している人が増加している様子がみてとれる。
3. 2005年の「写真と言葉」への評価を、2005年の陽性者の知人が「いる」「いない」「わからない」「その他」で分けてみてみると、「いる」「わからない」と答えた人は、「写真と言葉」に対する評価が非常に高く、「いない」と答えた人は評価があまり高くない様子が確認できる。2005年の企画に関しては、「陽性者の知人がいる」「わからない」と答えた人に対する訴求力が高かった可能性が示唆される。なお、2006年に関しては、企画に対する評価が全体的にシビアになっているものの、メッセージの訴求力に関しては陽性者の知人が「いる」「いない」「わからない」「こたえたくない」で、ほぼ同様の傾向となっている。このような訴求力の違いがなぜ生じたのか、今後は2005年と2006年の展示内容の質的差異に関する分析が求められる。

【文責：山田(MASH大阪)】

自由記述 2005

- ◆ HIV について、体験された（なんていうと失礼かもしれない）方々の気持ちを知ることができ、良かったと思う。僕も、梅毒にかかったことがある。病気になることは苦しいことだ。僕も、自分の血が汚れているような気がして、しかたがない。しかし、生きている以上、病気にかかるのはあたり前のことだ。この企画を通じて、自分も、気力をもらえた。その点でここへ来て良かったと思いました。
- ◆ とても素敵な展示でした。当事者の言葉で書かれているのが説得力がありました。これからも活動うまく行くと良いですね。
- ◆ 私はまだまだ知識が少ないのでもっと勉強します。本当にありがとうございました。心が素直になっていく気がします。
- ◆ 本当に色々考えさせてもらいました。こういう見つめなおす時間ってなかなかないのでよかったです。ありがとうございました。
- ◆ スタッフの皆さん、サポメンの皆さん、大変おつかれさまでした。FOLLOW と大阪の底力を見せてもらった思いです。これからもよろしくネ。
- ◆ みんなが message を記入できる様になってたのが good だった。
- ◆ 私も今年 3 月に告知を受け、服薬を翌月から始めました。みんないろいろな思いで生きているんだと思った。毎日毎日かみしめる様にポジティブに生きていきたい。
- ◆ 字汚くてすみません！字を書くのも久し振りだったのもで……。俺もパートナーが欲しいな。真面目に性について向き合えるようなパートナーに巡り会えることを祈ってます。今日は勇気出して一人で来て良かったと思いました。
- ◆ PLuS+で昨年から follow が参加したことは大阪での HIV を考え、対策を進めていく上で大きな前進です。そして、今年の展示は、follow の成長が表現されていました。これまで色々な議論をしてきたと思いますが、HIV は皆で考え、とり組むことが大切です。MASH 大阪と Follow、charm、大阪ではすばらしい CBO があります。これらが連携し医療や行政にもそのことを示せればと思います。ガンバロー。
- ◆ 寒い中ご苦労様です。皆様の活動で本当に一人でも多くの人々の気持ちを救えると思っています。陰ながら応援してますし、助けていただいています。ありがとうございました。
- ◆ ありがとうございました。まだまだ HIV や性のこと知らないこと多いし、他人事って思ってしまった自分もいたりする。そういうのやめようって思った。
- ◆ 今、ここから“何か”が始まればなあ……。
- ◆ これからも続けて行ってください。本音が語りにくい今だからこそ、必要だと思えます。ファイルが欲しくなりました（笑）
- ◆ “陽性でもそうでなくても関係は変わらない”みんながそう思って、社会から偏見の目がなくなることを願っています。
- ◆ 私の周りにもこのパネルやファイルの中にあっただような気持ちの人がたくさんいると思う。そういうことに気づけて良かった。

自由記述 2006

- ◆ 頑張っけて続けていって下さい。続けることが力になると思います。
- ◆ 本当は残したいメッセージが沢山あったはずなのに、見ている内に言葉が出てこなくなりました。今言える言葉は「ありがとう」の一言です。
- ◆ インターネットとかでも見れるようになるといいなと。外へ外へ発信できるようになったらいいな。
- ◆ 病気を気にせず恋したいですね。
- ◆ ゲイ、H I Vなど今でも受け入れてくれる人々がまだまだ少ない今、このような人たちが普通に受け入れられる時代が早くくるように。
- ◆ 昼間から野外でセクシュアルマイノリティやH I Vなどについて考えるイベントがあって来て実際に体験して凄く色々な事を考えさせられました。次回このような企画があれば是非来たいです。
- ◆ 自分が発信塔になる事。いつか振り返った時、周りをプラスにする存在になれていたら幸せだなあと思いました。共感できる言葉、たくさんあって心にすんと残り、染みてきました。もっと大切にしたいと思わせてくれました。
- ◆ 無理やり妹夫婦をつれてきました。何か感じてくれたらと思って…。
- ◆ 「落書き」風のコメントが楽しい。ふざけたものもありそれがまたよい。(トイレの落書きって意外と面白いのと同じなのかなあ。)
- ◆ とても良い空間でした。エイズについてもほとんど誤解しています。知らないことは良くないと思います。「ガンなら言えるのにエイズなら言えなく」させている自分含、偏見を少しずつすくしていきたいと思います。
- ◆ 私の年代は80年代のエイズさわぎを知っている、でも今の若い人はエイズのこと一般的に知らないのでは？もっと広めて欲しい！
- ◆ 生きたいし。皆笑えたら良いね。
- ◆ 自分がゲイであることすらみんなに伝えづらいのにエイズだとわかると伝えられるかな・・・と不安になる。ゲイの友人だけでない地元のノンケ友達にも、何も気にせず話ができる世の中になったらいいな。正確なエイズの情報を知ってほしいな・・・。
- ◆ 知るといふ事は怖い事やけど、知っていく事の大切さを学んだ。
- ◆ ポジティブな人が具合悪そうにしていたら、例えばどのように対処したらよいのでしょうか。
- ◆ ありがとうございます。「人を支えるためには、自分はもっと強くなれないといけない」決意の独り言です(笑)
- ◆ 初めてこの企画に参加して、いろいろな事を知れて、とてもよい経験になりました。今まで自分とは関係ないと思っていた世界はじつは自分もその世界のひとりなんだなあ実感できました。ありがとうございます。
- ◆ HIV についての知識が少なく + と - がどう違うかがよくわからない・・・家に帰った

ら違いについて、HIV について勉強しようと思った。今日参加できてよかった。ありがとうございました。

- ◆ HIV も HCV(その他も) みな同じ
- ◆ "イベントで(舞台)「安全にどんどんSEXをしましょう」の一言 これではHIVを美化?しすぎにも思います。予防をきちんと周知した上で発言するコメントです。
- ◆ 全国ツアーをしてください、ぜひ
- ◆ HIVは自分自身にとっては遠い存在なので、身近になった気がする。自然体のコメントがええ感じでした。
- ◆ ありがとうございました。なんか平和な豊かな気持ちになりました。来年もぜひお願いします。
- ◆ 自分も+ですけどがんばって生きとります
- ◆ 「+ - =現実」ってことがよく判りました。ありがとうございました。
- ◆ 今、自分がネガかポジか分からない状態です。少し前に、成り行きでHをして2週間ぐらいしてから自覚症状と同じ状態が自分の体に現れました。少ししたら、落ち着いたのですが検査に行こう行こうと思いながら、尻込みしていけない自分にイライラ。今日、行きます。どういう結果か、本当に五分五分ですが、ネガでも今後のことを考えて、ポジでも考えます。ポジだと、きっと友達が支えてくれるはず。少し怖いです。

(以上)